



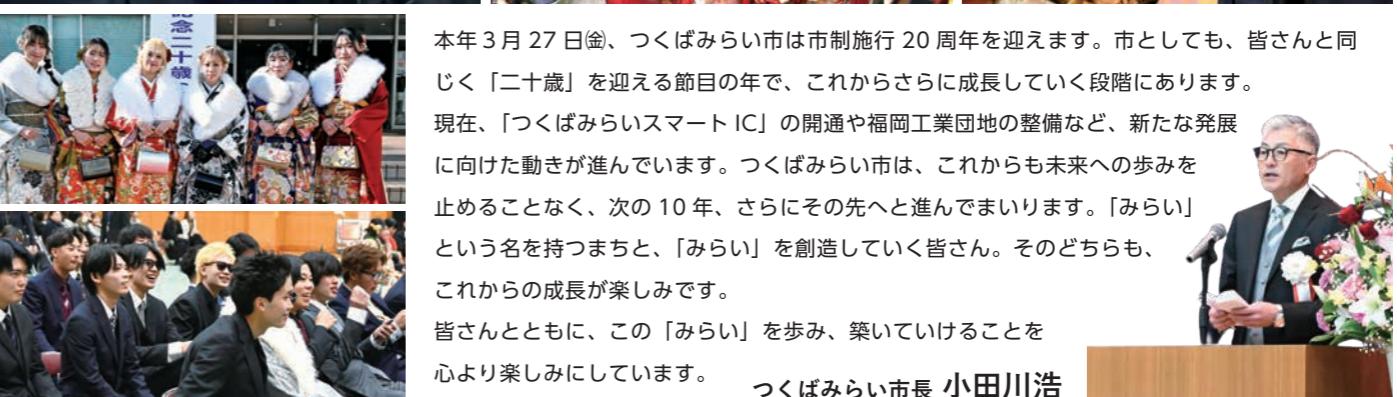
皆さんの中には今日、中学時代の恩師やクラスメイトと数年ぶりに再会した人もいると思います。中学時代を振り返ると、まだ幼かった私たちは、将来についてただ漠然としたイメージを持ちながら、日々過ごしていたように思います。

最も鮮明に思い出されるのは、部活動です。当時の私にとって、部活動の練習はとてもきつく、心が折れて練習が嫌になってしまった時期がありました。しかし、顧問の先生がいつもそばで励ましの言葉をかけてくださったおかげで、最後まで頑張ることができました。先生の厳しさの中にある温かさと、私たちを信じてくれる姿勢に何度も救われました。

あの経験があったからこそ、これまでさまざまな困難を乗り越えることができ、今日の自分がいるのだと強く感じています。

私たちはもう「守られる側」ではなく、「支える側」へと変わる時を迎えた。その重みを感じながらも、私たちは恐れず、歩みを進めていきたいと思います。これまで多くの人に助けられてきたように、今度は私たちが誰かを支えられる人になる。そうやって優しさの輪をつなぎ、未来へと希望を届けていきます。

なかくはやと
実行委員長 中茎駿斗さん



希望を胸に、 未来への第一歩。



晴天に恵まれた1月11日、日本スポーツ振興パークみらいで、「つくばみらい市市制施行20周年記念二十歳の集い」を開催しました。参加した354人は、旧友との再会に喜び記念写真を撮るなど、笑顔あふれる式典となりました。つくばみらい市では493人が二十歳を迎え、未来への第一歩を踏み出します。

問 教育委員会教育棟生涯学習課（内線7304）



本年3月27日金、つくばみらい市は市制施行20周年を迎えます。市としても、皆さんと同じく「二十歳」を迎える節目の年で、これからさらに成長していく段階にあります。現在、「つくばみらいスマートIC」の開通や福岡工業団地の整備など、新たな発展に向けた動きが進んでいます。つくばみらい市は、これからも未来への歩みを止めることなく、次の10年、さらにその先へと進んでまいります。「みらい」という名を持つまちと、「みらい」を創造していく皆さん。そのどちらも、これからの成長が楽しみです。

皆さんとともに、この「みらい」を歩み、築いていくことを心より楽しみにしています。
つくばみらい市長 小田川浩